2024 年５月号

ＪＴＣＣ　ニュース

（一社）日本繊維技術士センター

Ⅰ．（日本繊維技術士センターの行事予定）

（一社）日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維ＪＴＣＣ」で検索できます。

＜ＪＴＣＣ開催講座のご案内＞

（対面講座のコロナ対策：募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施）

●令和6年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

令和6年度の日程が決まりました。　詳細は日本技術士会のホームページを見てください。

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	技術士一次試験合格者
受験申込書の配布	令和6年6月7日～26日	令和6年3月25日～4月15日
受験申込書の受付（写真要）	令和6年6月12日～26日	令和6年4月1日～15日
試験日	令和6年11月24日	令和6年7月15日
筆記合格発表	令和7年2月	令和6年10月
口頭試験	なし	令和6年11月～令和7年1月
技術士資格合格連絡	官報にて告示、本人宛に合格書送付	
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

◆2024 年度　新入社員のための「分かりやすい繊維基礎講座」のご案内

一般社団法人　日本繊維技術士センター（JTCC）

本講座は、令和 6 年に繊維関係の会社に就職された新入社員の方々や、初めて繊維関係のお仕事をされる方々、および繊維に関する基礎的で実用的な知識を学ばれたい方々のための「分かりやすい繊維基礎講座」です。

1. 講座の趣旨

対面講座については大阪市内あるいは近郊の繊維関係会社（繊維メーカー、アパレル製造・販売会社、衣料量販店、百貨店、商社、繊維団地など）の社員の方々を対象に、平日の夕方、会社業務がほぼ終わりになる時間より開催します。対面講座の会場は、地下鉄御堂筋線：本町駅に近い、輸出繊維会館 6 階の日本繊維技術士センター（JTCC）大阪事務所です。

また、**同時に講義内容をオンライン配信いたします。**

2. 講座の主な内容

講義は JTCC（日本繊維技術士センター）所属の技術士が担当し、画像や現物サンプルなどを用い、目・耳・手を駆使して繊維を理解して頂くよう、カリキュラムを工夫しています。

またオンライン配信ではその様子をご覧になっていただきます。

詳細内容および申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

◆JTCC「公開講演会」

次月の内容が決まりましたら案内させていただきます。

◆令和5年度「繊維寺子屋“観て・触って・考える・体験塾」（参考案内）

日程：Aコース（素材、布編）
体験 時間・・・9:15～16:45
Bコース（アパレル編）
体験時間・・・9:15～16:45
会場：機械振興会館・・・日程により使用する部屋が変更になります。お申込の方に別途、連絡します。
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8東京タワー前　TEL: 03-3434-8211
連絡先: FAX：03-5614-0103 またはE-mail :jtcc-kt@nifty.com でお申し込みください。

Ⅱ.（業界ニュース）

1.　経済産業省（生活製品課）

「繊維産業の現状と政策について」 2024年2月　が発表されています。
国内における繊維産業の現状・課題と、当省にて実施している政策を紹介しています。
「IT 導入の補助金制度」の解説　が発表されています。
「繊維製品の環境配慮設計ガイドラインの公表について」 が発表されています。

2.　環境省

新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

「内外の化繊工業の動向」2023年 年間回顧　2024年4月16日発表

1）衣料用：2023 年の百貨店の衣類販売は前年比 10.1%増と 2 年連続で 2 桁増となった。インバウンド需要などもあり、ファッション分野の衣料需要は回復傾向が顕著となった。家庭・インテリア用：新規住宅着工件数の落ち込みからインテリア需要は下落した。新型コロナ禍で需要が伸長したマスク、除菌シート等の家庭・生活資材用途 の需要は一服、おむつ関連需要は生産・輸出の落ち込みから減少となった。産業資材用：自動車生産は 2023 年に入り増産傾向に転じ、前年比 14.8%増となり、自動車用繊維品需要は堅調に推移した。建築受注については、減少に転じたことで、建築資材など関連の繊維需要は下落した。

繊維需要関連の各種指標

（前年比増減：%）

	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2019	-4.0	-7.1	-0.5	-4.0	2.2
2020	-31.1	-16.9	-16.7	-9.9	-7.0
2021	3.5	-1.9	-2.7	5.0	2.0
2022	14.2	4.0	-0.1	0.4	7.1
2023	10.1	0.9	14.8	-4.6	-2.7

2）繊維工業の生産活動は 2022 年以降、新型コロナ禍からの回復傾向から減産に転じ、2023 年もその傾向が継続した。2023 年第 4 四半期の繊維工業全体の生産指数では 94.6 と前年同期（100.0）から 5.4 ポイント下落。全ての段階で下落しているが、そのうち、化学繊維を含む繊維は、国内での構造改革の進展もあり、92.8 と前年 同期（104.2）に比べ 10 ポイント以上の大幅な下落となった。

3）繊維品輸出は、ドルベースで 73.7 億ﾄﾞﾙ・前年比（以下同じ）3.5%減、一方、円 ベースで 1 兆 362 億円・3.3%増と、前年に続き円安の影響もあり、ドルベースで 減少、円ベースで増加となった（数量ベースでは 3.9%減と前年に続き下落）。形態別（円ﾍﾞｰｽ）では、繊維原料 1,144 億円・前年比横ばい、糸類 1,253 億円・ 4.1%増、織物 2,766 億円・4.2%増、二次製品他 5,198 億円・3.5%増となった。
仕向地別（円ﾍﾞｰｽ）では、全体の 28%のシェアを占める中国が 5.4%増の 2,853 億円。韓国（2.5%減）、香港（0.6%減）は減少したが、台湾（4.1%増）は増加 した。アセアン地域は、ベトナム（5.2%増）が増加、全体で 4.0%増の 1,206 億 円、シェアは 24%となった。米州は 3.3%減となったが、欧州は 1.9%増と増加した。

4）繊維品輸入は、ドルベースで 340.4 億ﾄﾞﾙ・前年比（以下同じ）7.3%減となった。一方、円ベースは 4 兆 7,881 億円・1.3%減。形態別（円ﾍﾞｰｽ）では、繊維原料 905 億円・7.7%減、糸類 1,444 億円・7.1%減、織物 1,529 億円・4.1%減となった。二次製品他 4 兆 4,003 億円。二次製品は全体 で 0.9%減、そのうち、主力の衣類は、1.2%増となった。国別では、全体の 52%を占める中国が 6.8%減の 2 兆 4,751 億円。韓国は横ばい（0.0%増）であったが、台湾は 10.6%減となった。アセアン地域は、ベトナ ム（7.7%増）、インドネシア（3.3%増）が増加、全体で 5.5%増となった。アセア ンのシェアは 31%となった。
欧州（20.6%増）は大幅増、米州（7.5%減）は減少 した。

繊維品輸出・輸入実績

項　　目	単 位	2021年	2022年	2023年	前年比(%)
輸　　出	千ドル	7,840,917	7,632,564	7,368,629	-3.5
計	百万円	862,416	1,002,608	1,036,167	3.3
繊維原料	百万円	96,813	114,428	114,429	0.0
糸　類	百万円	111,842	120,291	125,251	4.1
織物類	百万円	218,914	265,565	276,648	4.2
二次製品他	百万円	434,847	502,324	519,840	3.5
輸　　入	千ドル	35,479,056	36,734,300	34,043,544	-7.3
計	百万円	3,896,460	4,852,074	4,788,083	-1.3
繊維原料	百万円	60,116	98,077	90,498	-7.7
糸　類	百万円	108,242	155,454	144,418	-7.1
織物類	百万円	122,713	159,421	152,892	-4.1
二次製品他	百万円	3,605,388	4,439,122	4,400,275	-0.9
(うち衣 類)	百万円	(2,832,818)	(3,500,957)	(3,541,341)	1.2
輸出レート	円/ドル	110.0	131.5	140.6	6.9
輸入レート	円/ドル	109.8	132.1	140.6	6.5

(出所) 財務省

5)2023 年の化繊生産は前年比 8.4%減の 67.5 万トンとなった。うちセルロース繊維は 同 7.7%増の 16.3 万トン、合繊は同 12.5%減の 51.2 万トンであった。合繊生産を品種別にみると、ナイロン F は同 4.7%減の 6.9 万トン、ポリエステル F は同 12.3%減の 8.4 万トン、同 S は同 14.6%減の 6.1 万トン、アクリル S は同 12.1% 減の 8.2 万トンとなった。年末在庫は前年同期比 11.8%増の 10.9 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 9.5%増の 3.0 万トン、合繊は同 3.8%増の 7.9 万トンとなった。

●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

・ 新情報なし

●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・ 新着情報なし

４．（一社）日本衣料管理協会、（一社）繊維評価技術協議会（繊技協）、他

●（一社）日本衣料管理協会

2024年度　ＴＥＳ試験のスケジュール（予定）	
試験日	2024年7月14日（日）
日程	▪4月1日～5月17日　願書配布 ▪4月22日～5月24日　願書の受付 ▪7月14日(日)　試験日 ▪9月中旬 試験結果発表 ▪11月1日　認定日
試験会場	▪東京試験場　東京23区内（予定） ▪名古屋試験場　名古屋プライムセントラルタワー ▪京都試験場　京都女子大学 ▪福井試験場　福井大学　文京キャンパス ▪倉敷試験場　倉敷ファッションセンター ▪福岡試験場　JR博多シティ会議室
	※試験会場は変更する場合があります。 最新情報は随時ホームページにてご案内します。
受験資格	▪学歴・年齢・国籍・職業・経験を問わずどなたでも受験することができます。

繊維製品品質管理士の受験用テキストが改訂されました。

「新改訂版　繊維製品の基礎知識」　　価格:5, 610円

購入方法は、日本衣料管理協会のホーム頁より

●(一社)繊維評価技術協議会(繊技協)

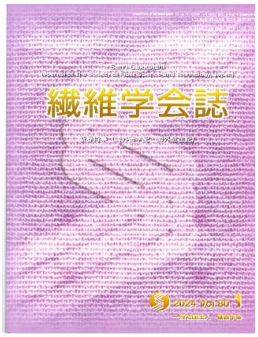
・繊維製品の環境配慮設計ガイドラインの公表について
・SEK マーク繊維製品認証基準の改訂について

●協同組合関西ファッション連合(KanFA)

・新着情報なし

Ⅲ.(技術情報)　詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧下さい。

◆<繊維学会誌>　２０２４年４月号



<繊維・材料の循環>
○ポリエステルの低エネルギーケミカルリサイクル法の開発　産総研　田中真司
○プラスチックの環境問題の動向と包装材料の最近の動向内部構造の解析
東洋紡(株)　清水敏之
○色で素材を循環する"Colour Recycle System®"新しい繊維リサイクルのかたち
㈱COLORLOOP　内丸もと子
○Ideonella Sakaiensis によるポリエチレンテレフタレートを原料とした
ポリヒドロキシアルカン酸の発酵生産　奈良先端科学技術大学　吉田昭
○カネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet® と資源循環システム構築の取り組み
㈱カネカ　福田竜司・宮本貴幸
○アパレル企業における GHG 削減への取り組みと衣料品回収(エコロモキャンペーン)について
㈱ワールド　八木恵美子

<繊維　街歩き(1)>
○川島織物文化訪問記　繊維学会　小寺芳伸

◆<繊維製品消費科学会誌>　2024年3月号

報文　熙
○学校制服により育まれる中国生・高校生の意識と教員・保護者の期待
お茶の水女子大学　内藤章江　㈱チクマ　有吉直美
○ジェンダーレスファッションの評価に関与する色彩・アイテム・性差因子の検討
椙山女子学園大学　加藤千穂、原田菜央、石原久代
○「青色の異なるトーンの寝具に対する入院患者の印象ー精神病棟における調査ー」
福岡看護大学　原　やよい、中島富有子　福岡女子大学　黒木　凜、庄山茂子
○患者と病衣と看護師の制服が精神的健康にもたらす効果
金沢医科大学　孫　珠熙　前富山大学　日光美織
○各スタイリングにおけるスタイリングイメージの認識の特性の検討
文化学園大学　杉田秀二郎　(一社)日本ファッションスタイリスト協会　あいざわあゆみ

◆＜繊維機械学会誌＞　2024年3月号

○福井地域が挑戦する未来創造型産業のカタチ　福井大学　米沢 晋
○自動車用不織布　日本バイリーン㈱ 田中広志
○表情認識マスクの開発とメタバースへの応用展開
Do I ami .lic 稲員悠太　大阪大学 西河 敦
○アップサイクル・ブランド「edge」における製品デザイン―市場展開を通しての価値の創出―
共立女子大学 宮武恵子

◆＜日本技術士会誌＞　「技術士 PE」2024年3月号

次月に掲載します。

（月刊誌）

◆＜加工技術＞　2024年3月号

○アパレルものつくり アパ・これ・ろん 1　JTCC　樋之口孝子
○ITMA 2023 ミラノ展視察記 8　Advanced Cosulting Partners 伊藤高廣
Ⅷ 省エネルギーとGHG
Ⅷ A 燃料　Ⅷ B 加工機　Ⅷ C 新たな取り組み 水素
Ⅸ 世界の動向
Ⅹ 総括
○炭素繊維コンポジットの最新技術動向 2　井塚技術士事務所 井塚淑夫
5. 成形
6. CFRPの二次加工及び検査
7. CFRPのリサイクル
○名古屋テキスタイル研究会　編集部
○時空繊維　JTCC 八木健吉
・錦織の名称　・大津市錦織地域　・古都保存法の古都への登録　・近江大津宮の研究史
・錦織説の登場　・さまよえる近江大津宮　・錦織地区での民家の建替工事
・発掘調査の許可を得る　・発掘調査の開始　・柱穴の発見
・13 基の柱穴が出現、近江大津宮か？　・国史跡の指定へ　・幸運の女神が微笑む？
・JR「西大津」駅を「大津京」駅に改称

◆＜不織布情報＞ 2024年3月号

【用途特集】フィルター

あらゆる分野のフィルターの必要性の
可能性を考察し、素材の有用性を探る ---------- 6

1 次元モデルによる触媒付きディーゼル微粒子フィルターの
PM 堆積・ 酸化シミュレーション
－触媒の活性化エネルギーの効果（第 4 報）／名古屋大学 ---------- 8

メルトブロー不織布「タピルス」
新時代に向けたフィルター製品開発、
環境配慮した製品への取り組み／タピルス ---------- 16

ガラス繊維フィルタろ材「microfine®」
その特長と新たな展開／北越コーポレーション ---------- 22

商社とメーカーを融合させたグループネットワーク
広い視野から装置メーカーとユーザーへの提案が可能／ 泉 ---------- 26

磨き上げた技術力でろ材から開発
可能性を秘めた革新素材「Yamashin Nano Filter®」／ヤマシンフィルタ ---------- 30

クルマ用フィルターへの期待 ---------- 33

◆ ＜新聞、他＞

繊研新聞

〇2024年1～2月 の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	190	1,158	103	1,079	293	51.3	2,237	44.8
		1.4	8.2	▲11.7	4.3	—	—	—	—
2	ベトナム	69	499	26	459	95	16.6	958	19.2
		21.3	30.8	1.8	20.8	—	—	—	—
3	カンボジア	40	162	14	159	54	9.5	321	6.4
		1.2	3.4	▲2.8	2.9	—	—	—	—
4	バングラデシュ	28	146	12	167	40	7.0	313	6.3
		28.3	21.9	0.1	7.6	—	—	—	—
5	ミャンマー	19	82	16	194	35	6.1	276	5.5
		8.4	5.6	▲8.4	▲3.1	—	—	—	—
6	イタリア	1	79	1	128	2	0.1	207	4.1
		▲2.5	19.8	2.3	25.8	—	—	—	—
7	インドネシア	9	80	9	130	18	3.2	210	4.2
		▲9.5	▲3.6	22.9	28.7	—	—	—	—
	その他	23	235	11	237	34	6.0	4,522	9.5
		—	—	—	—	—	—	—	—
全世界		379	2,441	192	2,553	571	100	4,994	100
		6.6	12.4	▲7.0	9.5	—	—	—	—

出所:日本貿易統計

業界待望のバイブル!!

次代につなぐSDGs
持続可能な染色加工をめざして

日本を代表する繊維技術士16名による実践のノウハウ書

最新刊　テキスタイル実務者 必携

実践の染色読本

- 企　画：日本染色加工同業会80周年記念事業
- 編　著：一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）
- 発　行：株式会社 ファイバー・ジャパン
  https : //www.fiberjapan.co.jp
- 体　裁：B５判　350 ページ
- 定　価：本体 10,000 円 ＋ 税

詳細はこちらから

本書は全工程をはじめSDGs・環境までを網羅した業界初の充実した内容。初心者はもとより染色の実務経験のある方や大学関係者にもぜひ読んでいただきたい座右の書！

「発刊のご挨拶」より（抜粋）

当同業会の 80 周年記念事業として、「実践の染色読本」を発刊することになりました。現存する染色加工に関するノウハウ書はありません。今回の企画により染色加工技術分野唯一のノウハウ書が誕生することになり、次代の染色加工技術の持続可能な礎になると確信しています。

執筆と監修は日本繊維技術士センター技術支援委員会に協力いただきました。染色加工技術分野は多岐に渡っていますが、詳細に執筆いただき充実した内容になりました。

テキスタイル関連に携わる実務者は、海外を拠点に活動をしており、このノウハウ書「実践の染色読本」を必携書として有効に活用されることを切望します。

日本染色加工同業会
理事長　伊藤　博
代表幹事　今田　邦彦

「発刊に寄せて」より（抜粋）

日本染色協会は、当業界の将来に向けての課題解決案として、①「SDGs」への取り組み、②新商品開発等への新たな取り組みを掲げております。これらの課題達成に向けて、今回、日本染色加工同業会の 80 周年記念事業として企画され、長年、染色加工に従事され蓄積された技術の粋を結集された本書は、今後、当業界の染色技術者育成の基礎となり、染色の現場で発生している不具合の種々の課題解決に寄与するものと確信しております。

一般社団法人 日本染色協会
会長　後藤　勝則

執筆者一覧（五十音順・敬称略）

秋丸 光嗣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・和歌山染工㈱
有瀧 宗重	(一社) 日本繊維技術士センター 執行役員、元・東洋紡㈱、元・大同マルタ染工㈱
今田 邦彦	(一社) 日本繊維技術士センター 顧問、元・住友化学㈱
上本 雅則	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、元・東レコーテックス㈱
越智 清一	(一社) 日本繊維技術士センター 客員、元・東洋紡㈱、元・(一社) 繊維評価技術協議会
大島 直久	(一社) 日本染色協会 理事 大阪事務所長 兼 技術部長、元・東海染工㈱
金﨑 英夫	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・日華化学㈱
嶋田 幸二郎	(一社) 日本繊維技術士センター 理事長、元・帝人㈱、尾張整染㈱
寺嵜 正淳	㈱日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部
西村 元廣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・ユニチカ㈱
橋田 佳雅	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、モリリン㈱
橋本 嘉顯	(一社) 日本繊維技術士センター 理事、元・東洋紡㈱
馬場 武一郎	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、日本毛織㈱ 衣料繊維事業本部
松田 芳樹	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・DIC㈱
水嚢　満	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・㈱ミツヤ
森本 國宏	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・(一社) 日本染色協会

※査読協力：嶋田 幸二郎，橋本 嘉顯，八木 健吉

● お申し込みは ── E-mail／HP で !!

E-mail : info@fiberjapan.co.jp
https : //www.fiberjapan.co.jp

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。
掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。（掲載料金は無料です。）
賛助法人・団体会員様の声（技術的な問題，JTCCに対する声などをメールでお聞かせください）
連絡先：jtccnews@mbr.nifty.com
JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。
編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター 広報委員会 JTCC ニュース担当 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）
本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町 3 丁目 4 番 9 号 輸出繊維会館 6 階
☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com
関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9（滋賀ビル 506 号室）
☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com
東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須 1 丁目 35-18 一光大須ビル 7 階
（公財）中部科学技術センター内） ☎ 052-231-3043（代） FAX 052-204-1469